
11月21日（日） 9:00～15:30（予定）

【テーマ】 狩猟

【タイトル】

狩猟とジビエ ～人と獣の共生関係～

【概要／狙い】

近年中山間地域を中心に鳥獣被害が深刻な状況にあります。

鳥獣による農作物への被害額はおよそ200億円で、その6割が獣類、4割が鳥類によるものであり、獣類では9割がイノシシ、シカ、サルによるものとされています。主な原因は餌となる広葉樹が少なく針葉樹が増えたこと、集落の過疎化・高齢化による人間活動の減少などとされています。

しかしながら、これらは人間目線での話です。動物はずっと山の中に住み、動物と人間は自然界において共生してきたはずです。人間目線だけではなく、自然界全体で見たときに動物と人間はどのように共生できるのでしょうか。

本講義では参考にするのは、千葉県君津市で廃校を活用し、猟師工房ランドを立ち上げた原田祐介さんです。原田さんは狩猟を通じて自然を守ることについて考え、鳥獣被害問題解決に取り組んでいらっしゃる方です。

狩猟の現状と課題、駆除した獣を無駄にせず適切に処理することについて考えます。

※獣の解体も行います。

【場所】

千葉県君津市

【講師】

原田 祐介 / 猟師工房 代表

【課題図書】

なし

【参考サイト】

[猟師工房ランドの紹介記事](#)

【参考写真】

